



2013年3月期決算説明会

2013年5月20日



高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

2013年3月期の決算概要

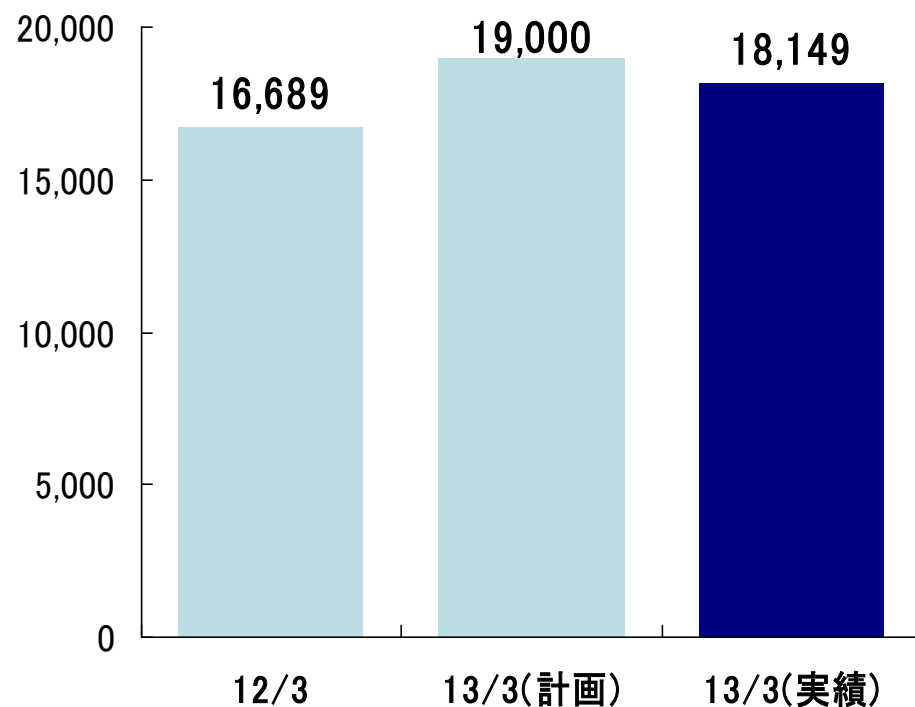
※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2013年3月期 連結業績ハイライト

増収増益、経常利益は計画も達成

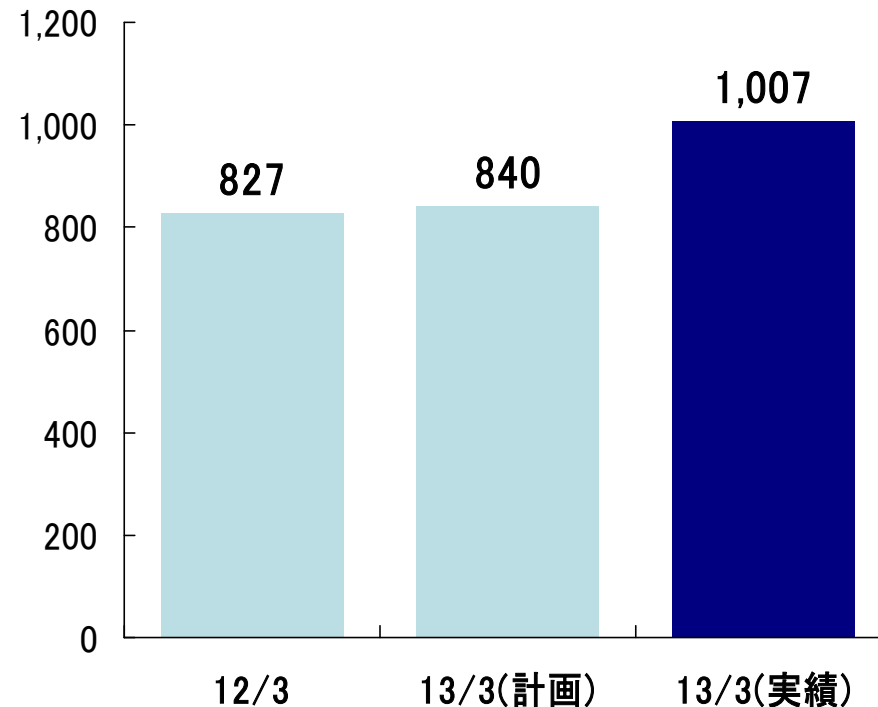
売上高

(百万円)



経常利益

(百万円)



2013年3月期 連結業績の詳細

連結子会社の販売貢献もあり増収増益

(百万円)

	12/3	13/3		計画差	前期差	前期比 (%)
	実績	計画	実績			
売上高	16,689	19,000	18,149	△850	1,460	8.8
粗利益	4,635	5,340	5,205	△134	570	12.3
粗利益率(%)	27.8	28.1	28.7	0.6	0.9	—
販売費及び一般管理費	3,877	4,520	4,379	△140	501	12.9
販管费率(%)	23.2	23.8	24.1	0.3	0.9	—
営業利益	757	820	826	6	69	9.1
営業利益率(%)	4.5	4.3	4.6	0.2	0.0	—
経常利益	827	840	1,007	167	180	21.8
経常利益率(%)	5.0	4.4	5.5	1.1	0.6	—
当期純利益	344	420	557	137	212	61.8
当期純利益率(%)	2.1	2.2	3.1	0.9	0.9	—
人 員	465	—	463	—	△2	—

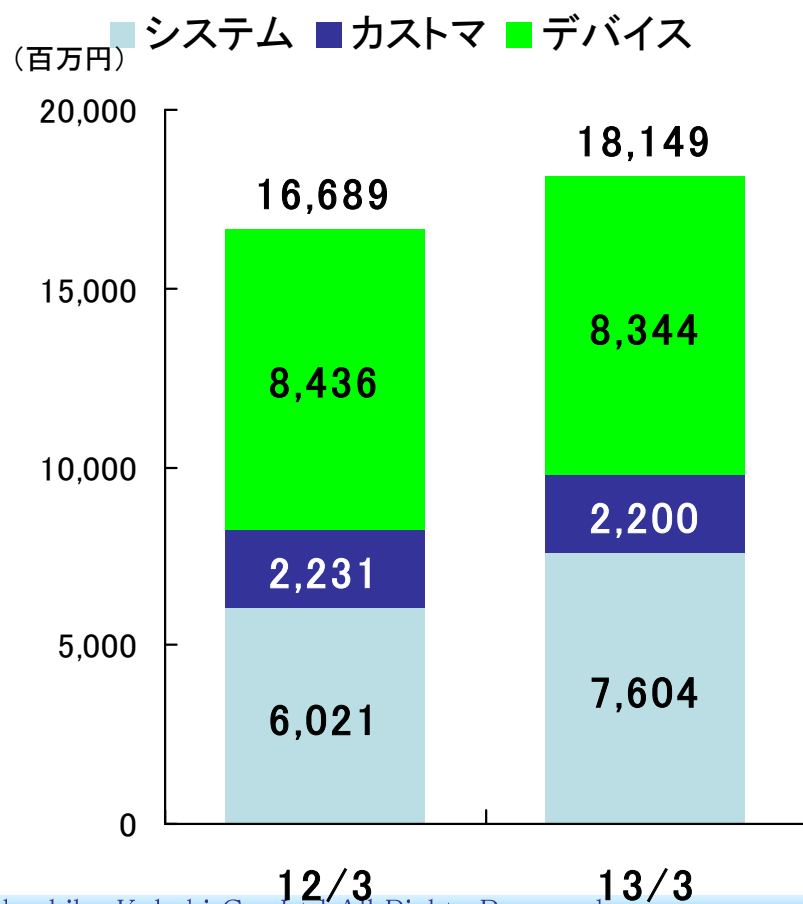
(※) 販管費にのれん償却216百万円を計上。

(注) 本資料における前期比の%表示は、対前期増減率で表示しております。

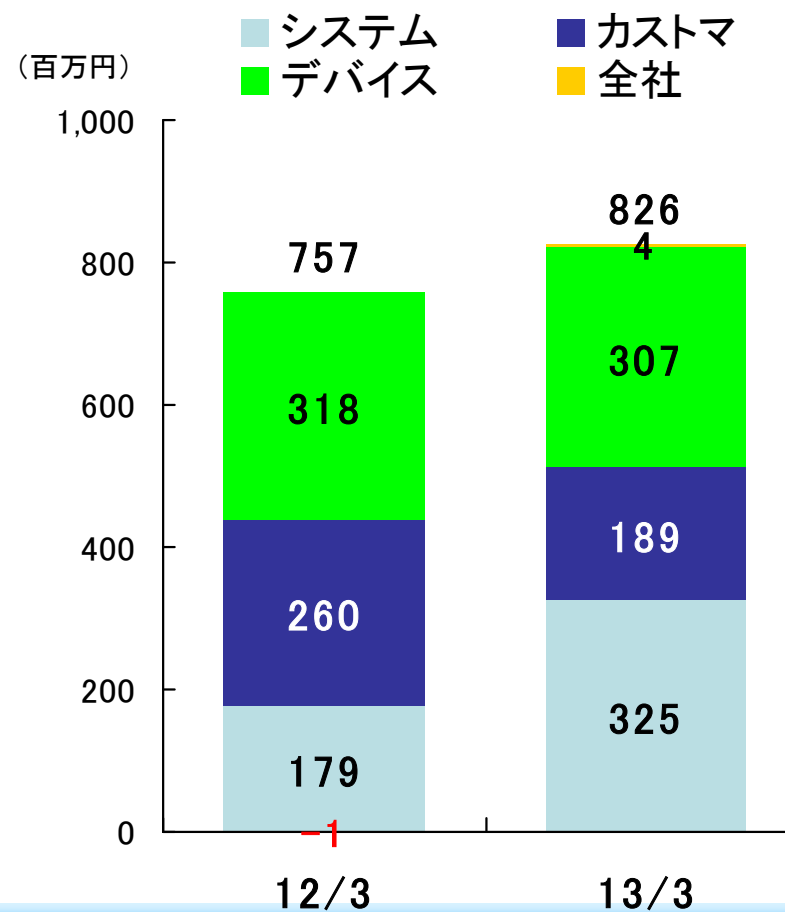
セグメント別業績のハイライト

システムセグメントの伸長により増収増益

売上高



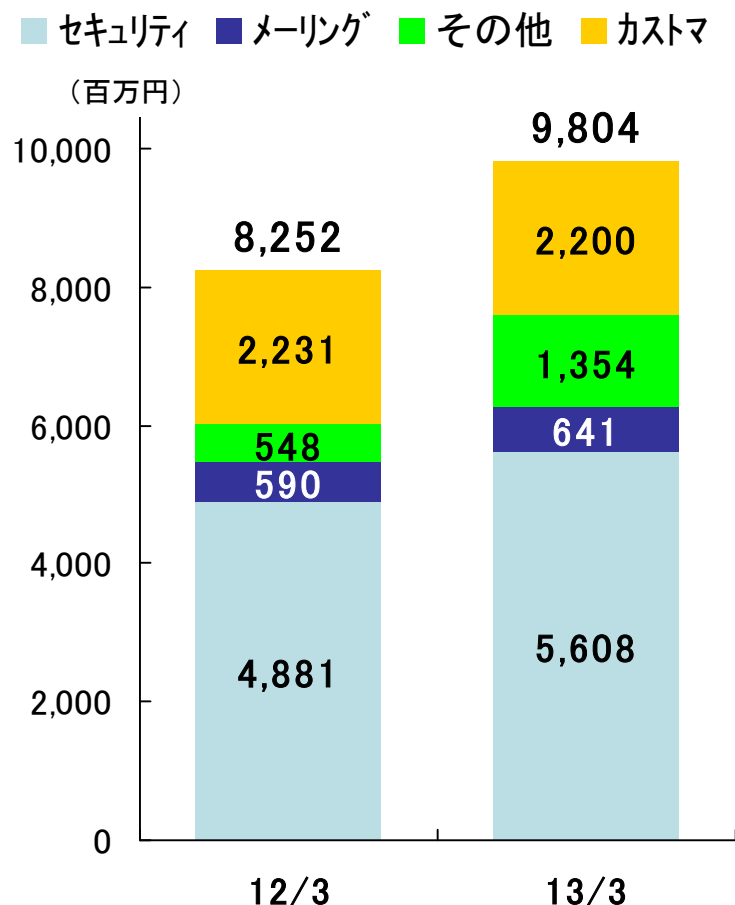
営業利益



システム+カスタマ・サービスセグメントの業績

各商品類が好調に推移し増収増益

売上高



定性情報

- ◆ セキュリティ商品類は、ホームセンター、アパレルショップの商品監視システム、IPカメラ等の堅調な業績と、タイ現法の洪水復興需要、日系企業との取引拡大により増収
- ◆ その他商品類は、マイティカードのRFID事業大口案件獲得等により大幅増収

営業利益

(百万円)

	12/3	13/3	前期比
システム	179	325	81.1%
カスタマ	260	189	△27.6%
合計	440	514	16.8%

デバイスセグメントの業績

電子商品類が減収となるも、産機商品類は増収

売上高



定性情報

- ◆ 電子商品類は、ゲーム市場で好調に推移するも、産業機器市場への拡販遅れにより減収
- ◆ 産機商品類では、中国のATM向け機構部品及び遊技市場向け機構部品の好調により増収

営業利益

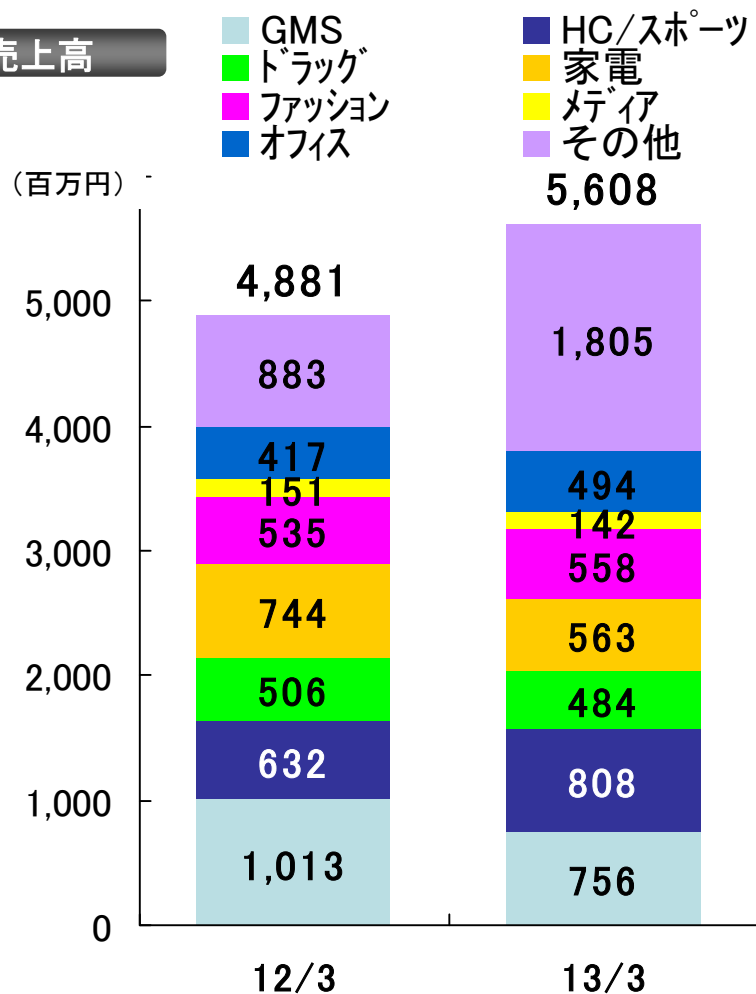
(百万円)

	12/3	13/3	前期比
デバイス	318	307	△3.4%

セキュリティプロダクトの業績

その他市場の増収でGMS等の減少をカバー

売上高



定性情報

- ◆ 前年に大口案件があったGMS市場は減収
- ◆ その他市場は、タイ現法の日系取引拡大等により増収
- ◆ HC/スポーツ、ファッション市場が伸長
- ◆ オフィス市場は、データセンターの入退室管理システムで増収



商品監視システム

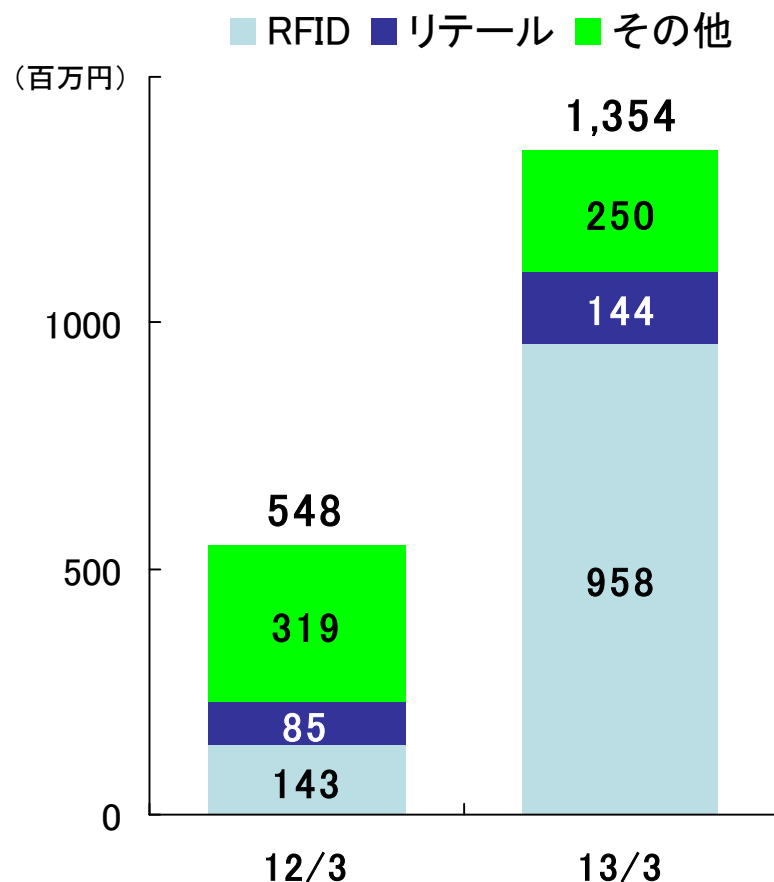


IPカメラ

その他(新規事業)プロダクトの業績

RFIDが大きく伸長、リテールソリューションも新商品が好調

売上高



定性情報

- ◆ マイティカードによるRFID事業が好調。資産管理システムや新たに取組んだ小売店向け在庫管理システムの大口案件により大幅増収。
- ◆ リテールソリューションでは、GMS等ストアマネジメントシステム関連(IQレーン等)の新商品が好調



IQレーン用
サーモセンサ

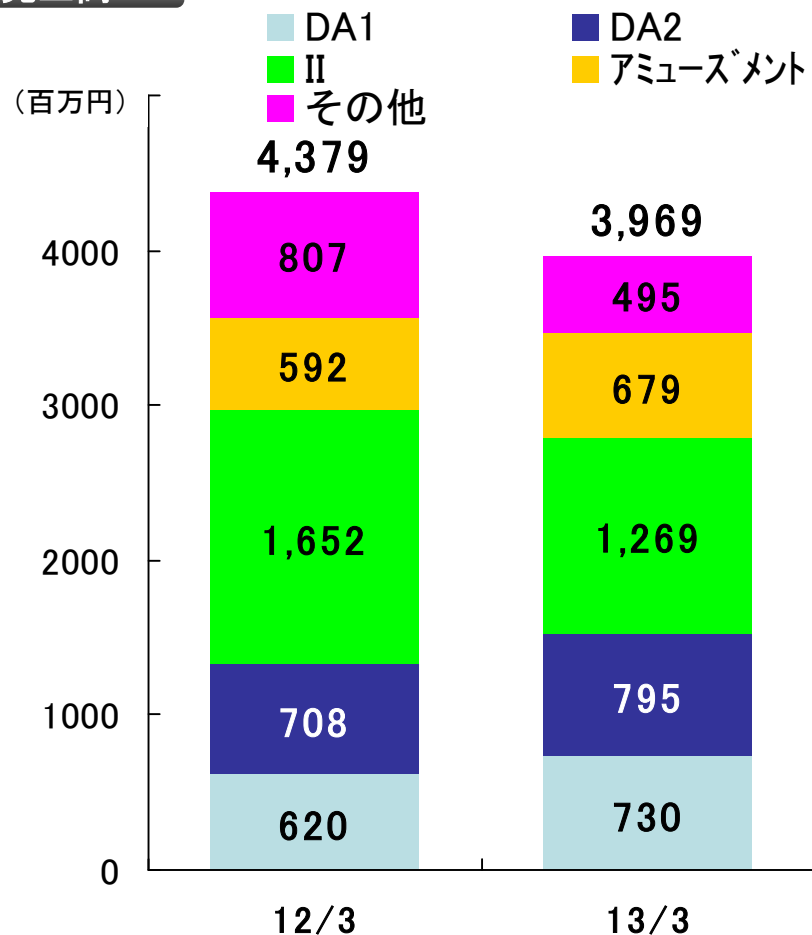


RFIDハードタグ

電子プロダクトの業績

産業機器市場への拡販が遅れ減収

売上高

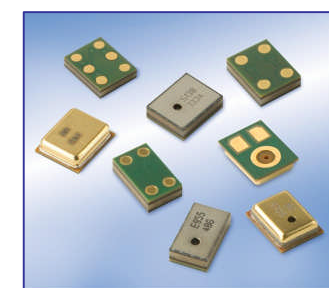


定性情報

- ◆ 強化市場である産業機器市場 (II) のアナログ商品が伸び悩み
- ◆ 不調な民生市場 (DA2) の中であって、一昨年販売開始した汎用アナログパワーIC製品の販売が増加
- ◆ アミューズメント市場では、ゲーム機向けシリコンマイクが好調



汎用アナログパワーIC



シリコンマイク

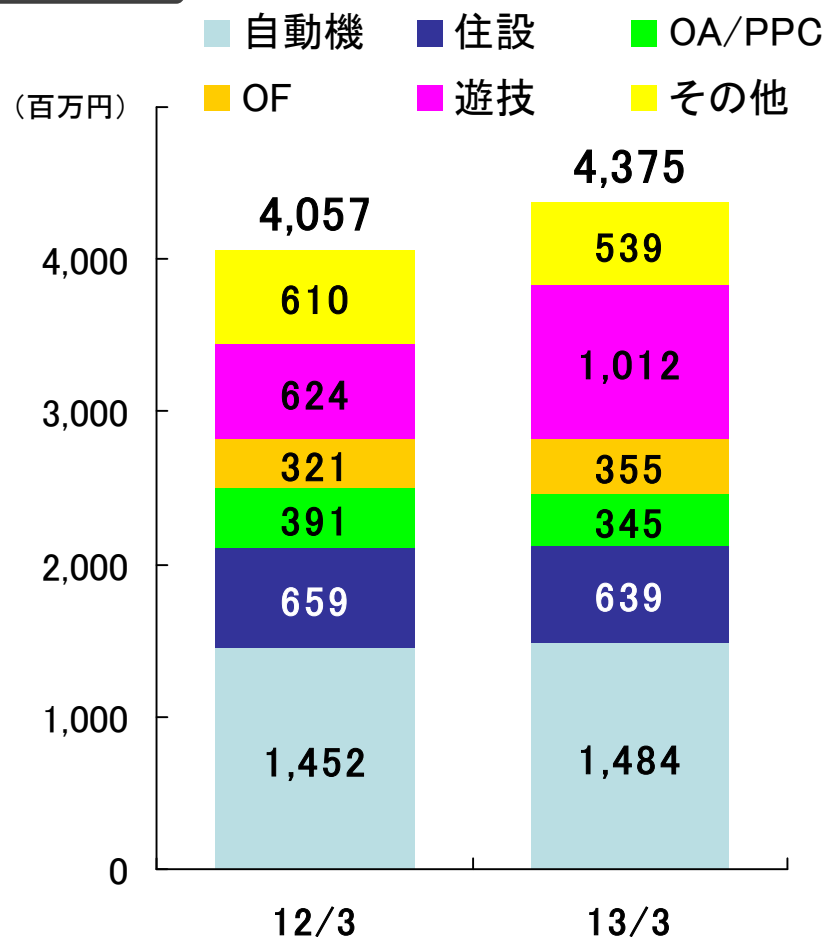
資料：電子プロダクトの市場区分

- DA1 「デジタルアプライアンス1」
モバイル系情報家電 … 携帯電話、デジタル・カメラ等
- DA2 「デジタルアプライアンス2」
設置型情報家電 … 液晶テレビ、パソコン、プリンター等
- II 「インダストリーインフラ」
産業機器 … 測定器、医療機器、放送設備、通信基地局等
- アミューズメント
… ゲーム機、遊技機等
- その他
… カーナビゲーション、パワー(電源関係)、代理店販売等

産機プロダクトの業績

自社開発商品や新商材が好調で引続き増収

売上高



定性情報

- ◆ 自動機市場は、中国ATM向けスライドレール、新商材の電子錠販売が堅調
- ◆ 遊技市場で自社開発のマイクロレールの採用が進み大幅増収



スライドレール



電子錠

資料：産機プロダクトの市場区分

自動機

・・・ATM(現金自動預け払い機)、券売機、釣銭機、自動販売機等

住設「住宅設備」

・・・システムキッチン、福祉機器、引き戸、昇降棚等

OA・PPC

・・・複合機、コピー機、プリンター、印刷機等

OF「オフィスファニチャー(家具)」

・・・オフィス用キャビネット、机、椅子等

遊技

・・・パチンコ台間機、ゲーム機、アミューズメント設備等

その他

・・・上記以外で半導体製造装置、サーバーラック、鉄道ドア、ホームドア等

貸借対照表の状況

保有有価証券の時価増加等に伴い投資その他資産が増加

(百万円)	12/3	13/3	構成比(%)	増減
流動資産	15,458	15,558	83.7	99
現金預金	6,492	7,207	38.8	714
受取手形及び売掛金	5,346	5,385	29.0	39
商品及び製品	2,026	2,013	10.8	△12
固定資産	2,831	3,040	16.3	208
有形固定資産	499	496	2.7	△3
無形固定資産	1,170	1,177	6.3	6
投資その他資産	1,160	1,366	7.3	205
資産合計	18,290	18,599	100.0	308
流動負債	3,894	3,891	20.9	△2
支払手形及び買掛金	2,563	2,572	13.8	8
固定負債	894	840	4.5	△53
純資産	13,501	13,867	74.6	365
負債純資産合計	18,290	18,599	100.0	308

連結キャッシュ・フロー計算書の状況

投資活動は、子会社株式を取得した一方、有証償還により増加

(百万円)

	12/3	13/3	前期差
営業活動によるキャッシュフロー	1,813	746	△1,066
投資活動によるキャッシュフロー	△1,738	214	1,952
財務活動によるキャッシュフロー	△524	△289	234
現金及び現金同等物の増減額	△450	714	1,164
現金及び現金同等物の期首残高	6,242	5,792	△450
現金及び現金同等物の期末残高	5,792	6,507	714

株主還元策について

継続して安定的な配当を実施

	1株あたり 年間配当金	内中間配当	配当性向:連結
2008年3月期	28円00銭	14円00銭	116.8%
2009年3月期	28円00銭	14円00銭	160.5%
2010年3月期	24円00銭	12円00銭	163.0%
2011年3月期	24円00銭	12円00銭	57.9%
2012年3月期	29円00銭	12円00銭	84.1%
2013年3月期	24円00銭	12円00銭	42.2%

※ 2012年3月期には、普通配当24円に加え60周年記念配当5円を含む。

次期の見通し

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2014年3月期 通期業績計画

グループ全体で自立的な成長を推進

(百万円)

	13/3 実績	14/3 計画	前期差	前期比(%)
売上高	18,149	19,700	1,550	8.5
粗利益	5,205	5,600	394	7.6
粗利益率(%)	28.7	28.4	△0.3	—
販売費及び一般管理費	4,379	4,580	200	4.6
販管费率(%)	24.1	23.2	△0.9	—
営業利益	826	1,020	193	23.4
営業利益率(%)	4.6	5.2	0.6	—
経常利益	1,007	1,050	42	4.2
経常利益率(%)	5.5	5.3	△0.2	—
当期純利益	557	560	2	0.5
当期純利益率(%)	3.1	2.8	△0.2	—

中期事業方針

基本方針

独自の付加価値創出とグローバルビジネスの拡大

- ① 既存事業の収益拡大
- ② 新規ビジネスの創出
- ③ グローバルビジネスの拡大

今後の成長戦略

国内既存事業の収益基盤を固め、海外+新規で成長を実現



新規ビジネスの創出

- システム:RFID、リテールソリューションの市場形成・拡大
- デバイス:社会インフラ市場(太陽光発電等)の開拓

グローバルビジネスの拡大

- TKタイを拠点とする東南アジア市場開拓の推進
- 中国市場の移管ビジネス継続と現地ビジネスの拡大
- 新規海外市場への参入

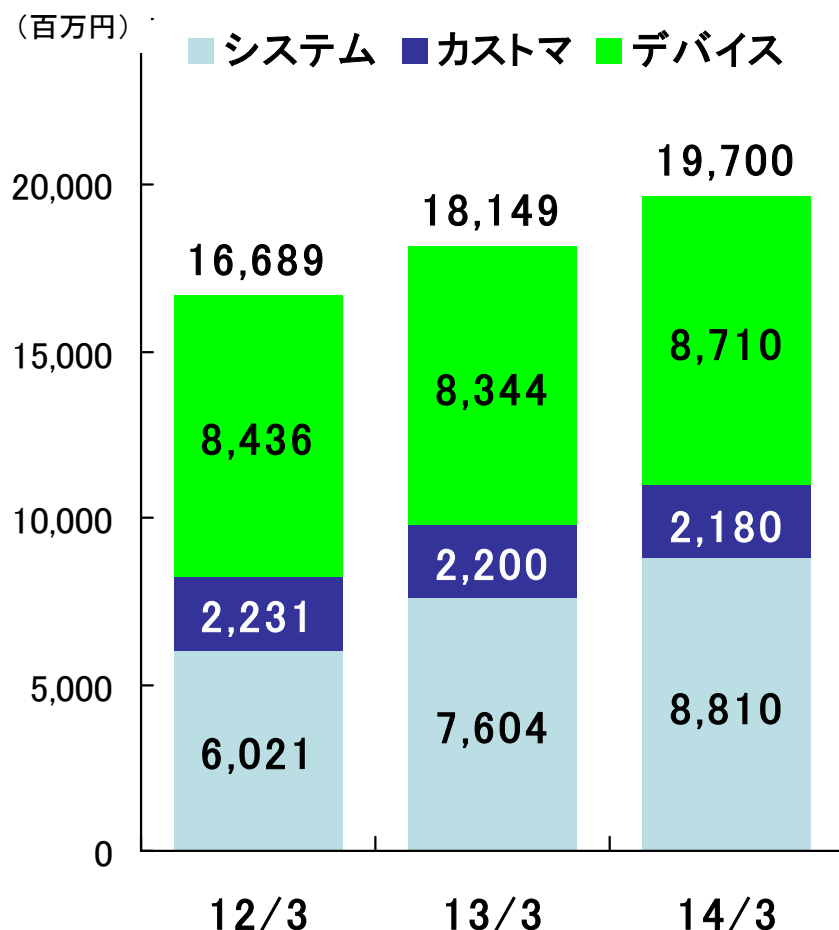
既存事業の収益拡大

- 戦略市場への集中化によるシェア拡大
- 独自商品(製品・サービス)の開発による市場開拓
- 付加価値創出による競争力強化
- 顧客満足向上による重点顧客の維持拡大

2014年3月期 セグメント別販売計画

システム・デバイス両セグメントで増収計画

売上高



定性情報

- ◆ システム: セキュリティは付加価値強化による国内市場の拡大と海外事業の強化、新規ビジネスはRFID等の市場形成・拡大を図る
- ◆ デバイス: 電子は産業機器市場での拡販による成長トレンドへの転換、産機は国内新規市場の開拓等により拡大を図る

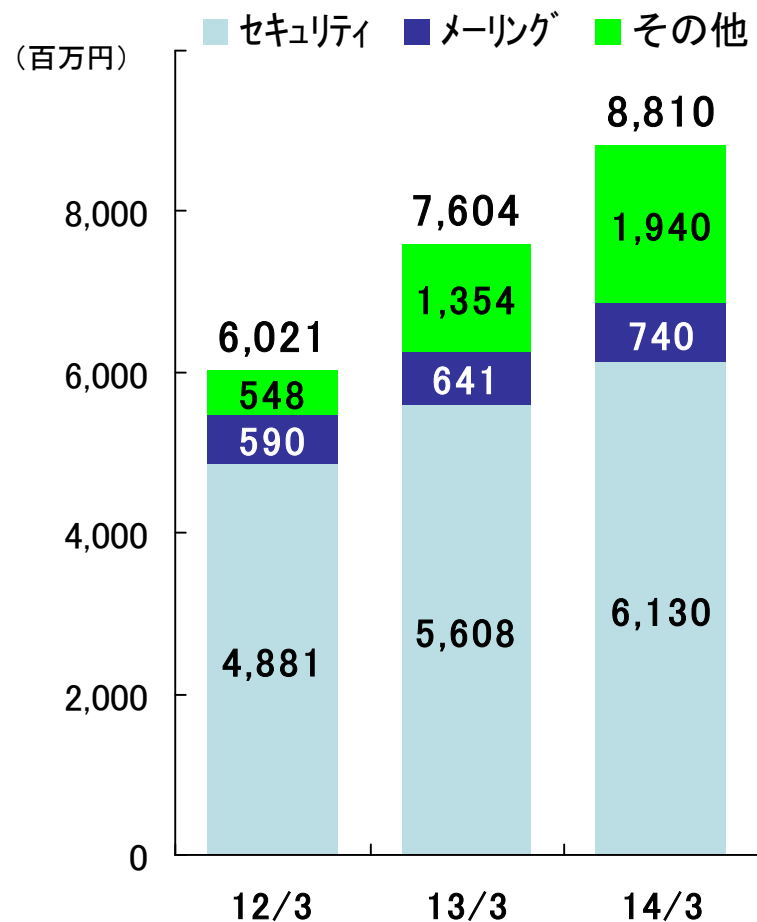
(百万円)

	13/3	14/3	前期比
売上高	18,149	19,700	8.5
営業利益	826	1,020	23.4
経常利益	1,007	1,050	4.2
当期純利益	557	560	0.5

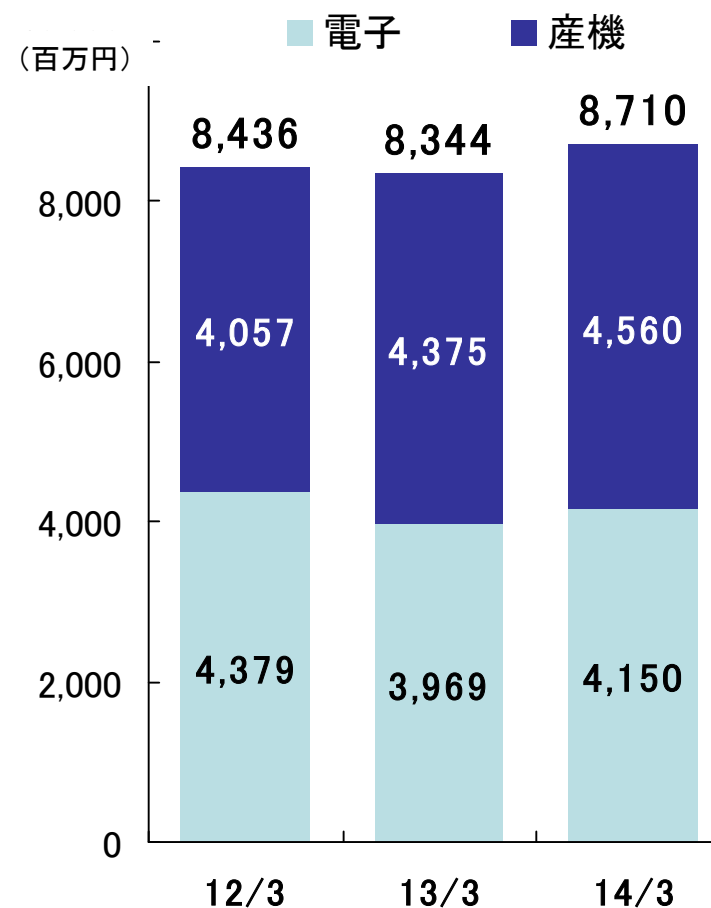
セグメント別販売計画の詳細

全商品類で増収計画

システム



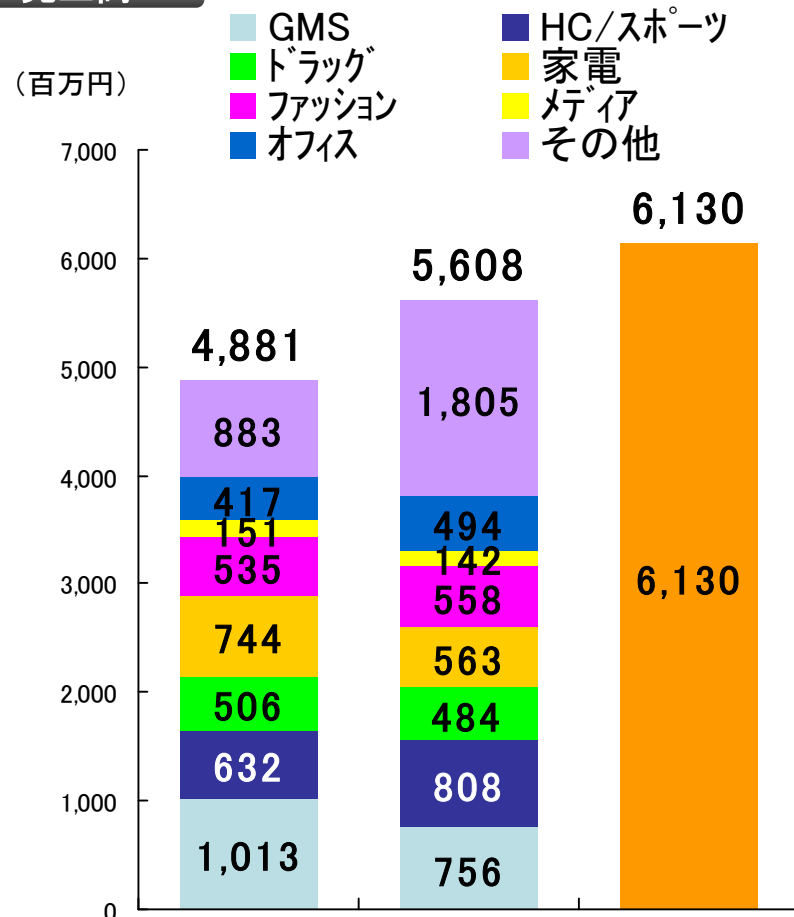
デバイス



セキュリティプロダクト販売計画

複合提案強化とグローバル化推進

売上高



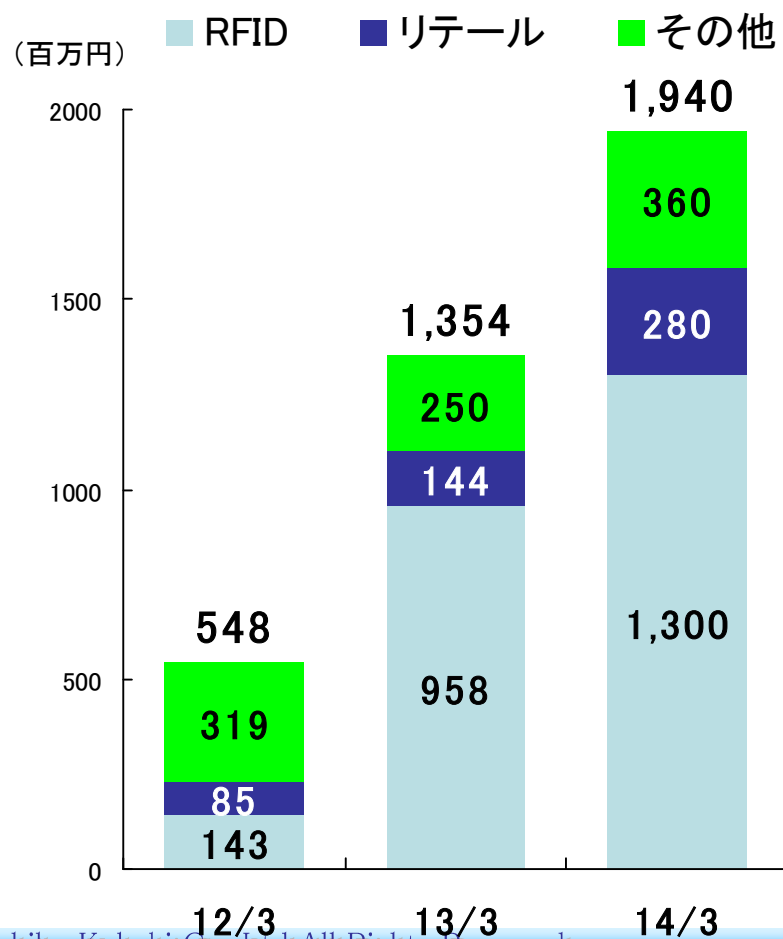
主な施策

- ◆ EAS(商品監視システム)未導入市場の開拓強化
- ◆ 複合提案(EAS+IPカメラ等)強化によるGMSの攻略継続
- ◆ 既導入顧客の運用支援強化を通じたダグの販売拡大
- ◆ ファッションは入店カウンターとEASの複合販売により拡大
- ◆ オフィスセキュリティ等での複合提案強化により、未導入企業へ拡販
- ◆ グループ内の連携強化によりタイ日系企業の開拓加速

その他(新規事業)プロダクト販売計画

RFIDとリテールソリューションで更なる躍進を狙う

売上高



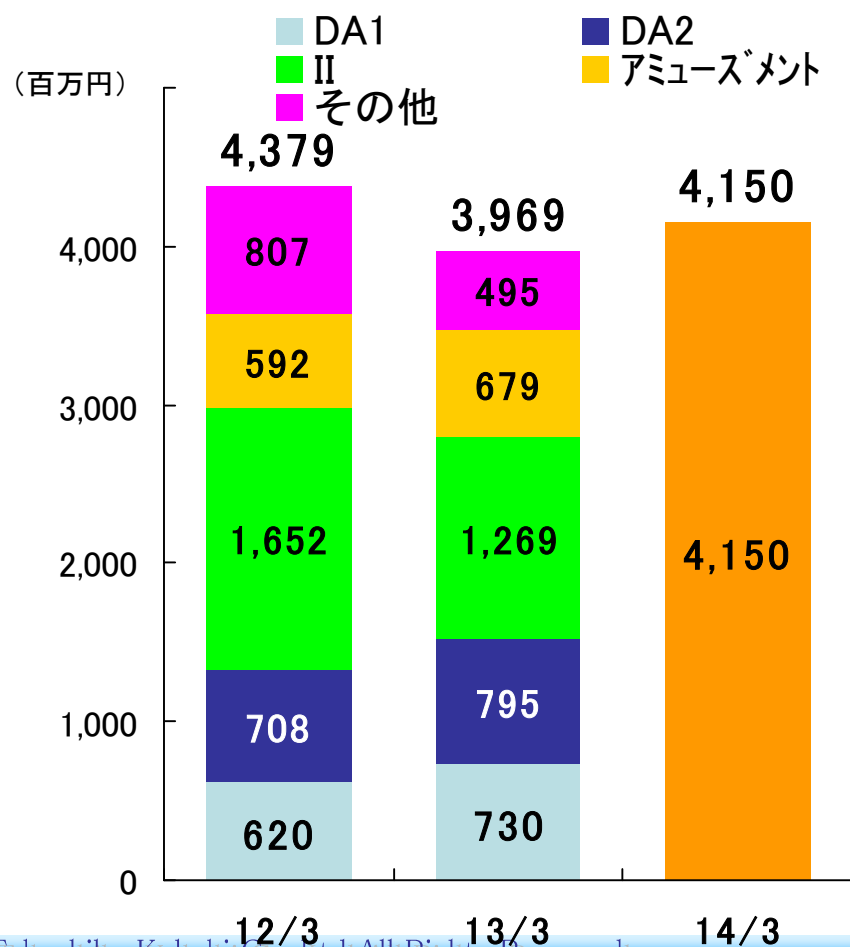
主な施策

- ◆ グループ内の連携強化により、アパレル小売店向けRFID在庫管理システムの販売強化
- ◆ RFIDを活用した図書館管理システムと資産管理システムの継続強化
- ◆ 付加価値の高い特殊RFIDタグの開発・販売
- ◆ GMS等のストアマネジメントシステム関連商品(IQレーン等)の本格展開
- ◆ 犯罪防止を目的とした顔認証システムの本格販売

電子プロダクトの販売計画

収益基盤の再構築により成長トレンドへ転換

売上高



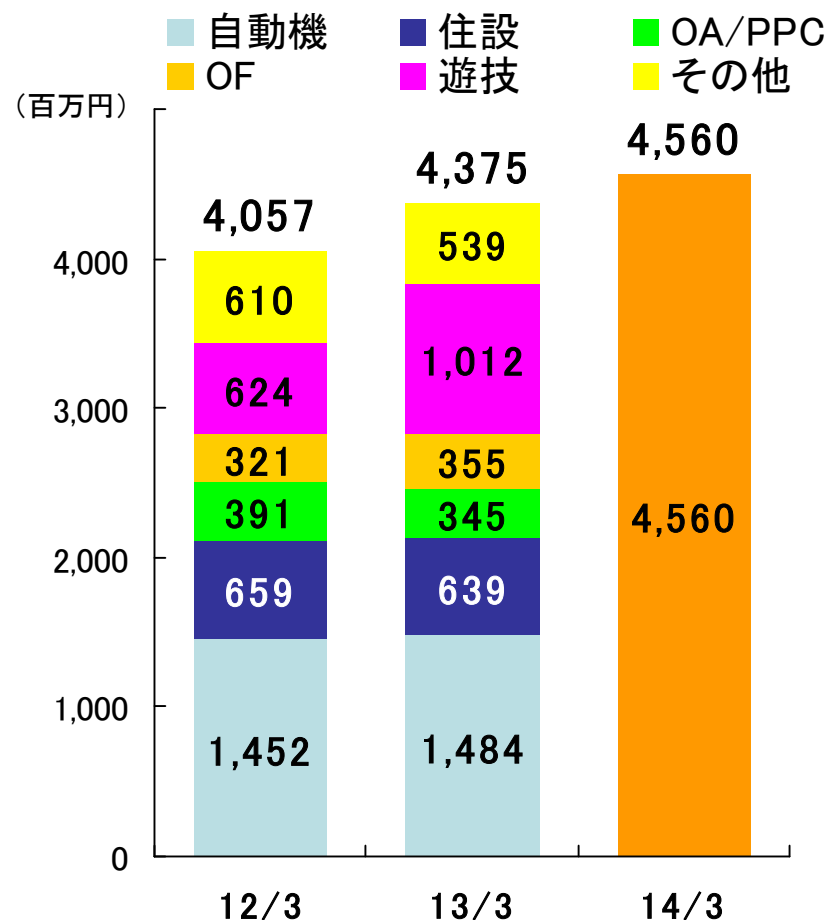
主な施策

- ◆ 新たに獲得したプロダクト(アナログデバイス社)を軸に産業機器市場(II)のアナログビジネスの再構築
- ◆ 民生機器市場(DA1・DA2)はMEMSセンサと通信系デバイス等の強化
- ◆ 日系企業の現地開発拠点への営業サポート体制の強化(グローバルビジネスの推進)
- ◆ 社会インフラ市場(太陽光発電等)の攻略

産機プロダクトの販売計画

施策を着実に実行し堅調に増収

売上高



主な施策

- ◆ 自動機(ATM)の国内メーカーの深耕と海外メーカーの攻略
- ◆ 引き続き遊技市場を確実に取り込みシェア拡大
- ◆ OFで新商品(海外サプライヤ)の投入で競合リプレイス
- ◆ 新商品開発
(ダイヤル錠、玄関ベンチユニット、ドア用ダンパ等)
- ◆ 新市場開拓
(鉄道、車両、航空機等)

トピックス

トピックス①:RFID事業の展開

図書館管理システム

- 周波数帯 HF(13.56MHz等)
- 概要
 - 図書館の書籍の貸出・返却や、蔵書点検など、業務運営の効率化に貢献
 - 欧州を中心に海外では広く普及。国内でも公共図書館の予算制約の中で緩やかに拡大中

小売店商品管理システム

- 周波数帯 UHF(915~930MHz)
- 概要
 - 在庫管理(棚卸、入出荷処理等)、商品監視、販売促進に貢献
 - 海外ではアパレル専門店、百貨店等で多数の導入事例が出ており、国内でもアパレル専門店で成功事例

RFID

資産管理システム

- 周波数帯 UHF(915~930MHz)
- 概要
 - 資産の位置管理、入出庫状況を記録
 - 金融機関の書類管理、工場の生産資産管理等に活用
 - 物流パレットレンタル企業等で本格採用始まる

今後の展開

- ◆ マイティカードとTKとの連携によるアパレル業界向けRFIDシステムの本格推進
- ◆ アジアの先駆的なRFIDベンチャー企業を含めた広範囲な商品・アプリケーションの整備
- ◆ 様々な国内業界でのRFIDアプリケーションおよび海外展開への挑戦

トピックス②:リテールソリューション事業

ストアマネジメントのソリューションシステム

IQ レーン

- 店舗のニーズ:顧客のレジ待ち時間短縮を通じたCS向上
- 概要: 店舗入口やレジ天井に設置したセンサーにより、入店客数やレジ待ち客数をカウントし、稼動すべきレジ台数を予測するもの
- 大手GMSで採用
(コンビニ、ドラッグ等への対抗)

顔認証システム(防犯用)

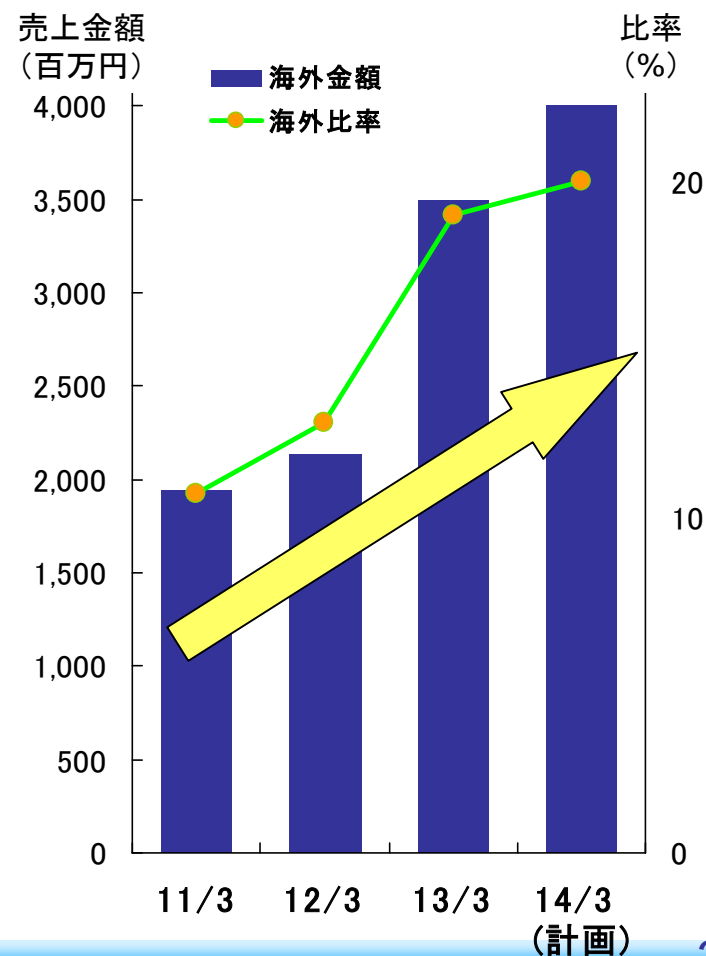
- 店舗のニーズ:防犯(窃盗常習犯対策)
- 概要:特定顧客の来店を検知し、防犯目的から、店舗の担当係員に連絡するもの
- 大手GMS等で採用

トピックス③ グローバルビジネス

東南アジアを主に海外売上が順調に伸張

- ① TKタイを拠点とする東南アジア市場開拓の推進強化
- ② 中国市場の移管ビジネス継続と現地ビジネスの拡大
- ③ 新規海外市場への参入

海外売上推移



中期事業方針

基本方針

独自の付加価値創出とグローバルビジネスの拡大

- ① 既存事業の収益拡大
- ② 新規ビジネスの創出
- ③ グローバルビジネスの拡大

ありがとうございました。



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、
記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。